

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	図書館狭山ヶ丘分館運営事業	所管	教育委員会教育総務部 所沢図書館狭山ヶ丘分館
			TEL 2949-1193

事業の目的 (何の為に 行うか)	地域住民の教養と文化の発展のため、図書を収集・保存しこれを提供する。
------------------------	------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	主に狭山ヶ丘分館周辺の地域住民	対象とした数	43,265	人
		実際に 利用した数	63,692	人

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料並びに新聞・逐次刊行物を収集保管し、個人及び団体に提供する。 ・図書資料などに対して十分な知識を持った職員を配置し、利用のための相談に応じ読書活動の拡充推進に寄与する。 ・児童や生徒のための学校団体貸出や学校訪問、乳幼児・未就学児童を対象にしたお話会などの行事を実施し、読書活動推進に努める。 ・コンビニ図書取次業務(西武狭山ヶ丘駅前店)処理及び公民館設置返却ポスト(三ヶ島公民館)の返却図書の処理を行なう。 							
		活動実績	項目名	登録者数	5792	項目名	図書の予約受付件数	12083	項目名
			-----	人		-----	件		-----

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	6,857	6,618	36,021	106.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	貸出冊数	年間貸出冊数	200000	181515	90.8
			-----	-----	-----
			単位 冊	単位 冊	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	120903	TEL	2949-1193
	120903	図書館狭山ヶ丘分館運営事業	教育委員会教育総務部 所沢図書館狭山ヶ丘分館			
開始年度	昭和 59 年度	→	終了年度	平成 年度		
開始年度	昭和 59 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	図書館法 所沢市立所沢図書館設置条例 同施行規則			
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育
				中柱	2 社会教育機関の充実
				小柱	(4) 図書館サービスの向上
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	1321	窓口満足度の向上	コード	1111
			市民の知りたい情報の提供	コード	1311
					ユニバーサルデザインの推進
	事業開始の背景	昭和55年に所沢図書館本館が新館オープンし図書館のサービスが進展したが、市民要求の高まりにより狭山ヶ丘周辺における生涯学習の拠点として狭山ヶ丘コミュニティーセンター内に、昭和59年6月に、3番目の分館として事業を開始した。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的)	地域住民の教養と文化の発展のため、図書を集集・保存しこれを提供する。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	主に狭山ヶ丘分館周辺の地域住民			
	利用数の考え方	狭山ヶ丘分館貸出・利用者数			
	対象数	単位	平成 18 年度	42,976	人
			平成 19 年度	43,265	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	64,641 人
			平成 19 年度	63,692	人
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料並びに新聞・逐次刊行物を収集保管し、個人及び団体に提供する。 ・図書資料などに対して十分な知識を持った職員を配置し、利用のための相談に応じ読書活動の拡充推進に寄与する。 ・児童や生徒のための学校団体貸出や学校訪問、乳幼児・未就学児童を対象にしたお話しなどの行事を実施し、読書活動推進に努める。 ・コンビニ図書取次業務(西武狭山ヶ丘駅前店)処理及び公民館設置返却ポスト(三ヶ島公民館)の返却図書の処理を行なう。 				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	児童向け図書等の展示内容について検討改善し、毎月のテーマを決めて図書資料を紹介するなどして利用の促進を図った。

⑤経費	≪会計種別≫	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		6,842	6,857	7,015
	決 算 (見込み含む)		6,856	6,618	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(5.00 人)	(人)	(3.95 人)
	正規職員人件費	2.39 人	21,988	3.13 人	29,403
	公債費				
	事業費合計		28,844	36,021	
	財源内訳	一般財源	28,844	36,021	7,015
		国・県支出金			
		受益者負担金			
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		85.4	106.2		
利用数一単位あたり(単位:円)		446.2	565.6		

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		登録者数	年間登録者数	人	6,100	5,792	6,000	
		図書の予約受付件数	年間予約受付件数	件	12,229	12,083	12,000	
	成果分析	貸出冊数	年間貸出冊数	冊	目標値 200,000	200,000	200,000	
				%	実績 187,408	181,515	突精値の拡大を図る1	1
					達成率 93.7	90.8	突精値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題 ・高齢者の多い地域で大活字本の利用が伸びているが、蔵書が少ないため市民要求に十分に答えられていない。 ・近くに児童館・保育園があるため、乳幼児を持つ利用層も増えているので、乳幼児向けのサービスを考えていく必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	乳幼児向けのサービス	お話し会等のさらなる充実を図る。	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由 図書館利用者は、乳幼児から高齢者まで多岐に渡る。どの世代にも満足してもらえぬ図書館が理想であるが、現状では、利用の多い層へのサービスを拡充することに努め、今後は他世代への働きかけも見据えた整備・拡充が必要である。				
評価日		平成20年5月8日	記入者職氏名	狭山ヶ丘分館長 宮秋 智子

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	評価日				

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
⑪世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し				
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				